

くまの自然歳時記 Vol.3

冬鳥

～身近な野鳥ジョウビタキ～

10月、またアイツがやってきた。筆者は20年以上前から野菜作りをしている。秋、夏野菜が終わり冬野菜へと転換する季節、必ずと言っていいほどアイツは現れる。そして、一冬を過ごしてサクラの咲くころにはなくなる。アイツは人を恐れぬ。農機具の柄の先や鹿避けネットの上端で私の作業をじっと見守っている。土の中からミミズや根切り虫がでようものならさかさず飛んできて獲物を奪っていく。さて、アイツの正体はジョウビタキ(Phoenicurus aureus / スズメ目ヒタキ科)という野鳥である。夏の暑さが去り、朝晩の気温が10℃を下回る頃、北の国から日本へ渡ってくる。北の国とはロシアや中国である。冬は雪と氷に閉ざされ、エサを得ることができない。そこで、比較的過ごしやすい日本へと渡ってくるのだ。越冬する鳥ということで「冬鳥」と言われる。よく知られるのは、ハクチョウやカモ

類である。一方、夏を日本で過ごす鳥を「夏鳥」と言い、身近な鳥としてツバメがそうである。さて、このジョウビタキは意外と知られていない私たちの生活圏で暮らす身近な野鳥である。大きさはスズメくらいで、そう大きくはない。オスは腹部が赤茶色、頭部が銀白色とよく目立つ体色をしている。一方、メスは灰色を基調として茶色が混ざり、オス同様翼に白い斑がある。人里と呼ばれる家屋と畑、そして林や森が混在するようなところを好み、街中の公園などでも見かけることがある。名前のジョウは「耐」と表記し、炭火の白い灰になったものをいい、これを銀髪にたとえ、ヒタキは「火焚き」で火打石をたたき合わせるような「ヒッ、キッ」「カッ、カッ」と鳴き声を出すということからきている。



今まで使っていた餌の先に留まる

この鳥の特徴はなんといっても単独で生活することである。非繁殖期であるため、オスメスであってもそれぞれ縄張りをつくる。車のドアミラーに映る自分の姿を敵だと思い、羽をばたつかせ鏡に攻撃しているところを何回か見たことがある。さらに、イソヒヨドリと格闘しているところを目撃した。

闘争心あふれる小さな体、人をも恐れない堂々としたふるまい。あなたがもし、火打石をたたくような鳴き声を聞いたら、それはまぎれもなく「センス・オブ・ワンダー」だ。私たちの身の回りでは様々な自然の営みがある。神秘さ、不思議さ、そして驚きと感動の世界が広がっている。これはほんの一部に過ぎない。



ジョウビタキ

The Letter from Mie Prefectural Kumano Kodo Center からのてがみ

2022 No.65



企画展

わが郷土のお祭り 飛鳥町と飛鳥神社例大祭



御神木 四本杉



舞

飛鳥神社は熊野市飛鳥町をはじめ熊野地方に複数存在し、新宮市の阿須賀神社に縁のある神社とされています。当飛鳥神社(小阪飛鳥神社)は五郷町寺谷の飛鳥神社(寺谷飛鳥神社)より勧請されたのが始まりとされ、創建時期は不詳ですが、寛文4年の由緒書状文書などから、江戸時代以前の草創であると推定されます。社叢全体が熊野市天然記念物に指定された境内には杉の巨木が立ち並び、中でも四本杉と呼ばれる御神木は、樹齢1300年以上といわれ、神社境内地の歴史の深さを物語っています。本展では、飛鳥神社で行われる四本杉祭りと例大祭に焦点をあて、祭りに使用される(一部は使用された)御神輿や御神楽の道具の実物展示に加え、飛鳥神社由緒や成り立ち、飛鳥町の慣習などについて紹介いたします。

交流イベント

新春特別上映会

お正月の2日間は、熊野修験に密着したドキュメンタリー映画や、旧三田火力発電所の煙突解体を撮影した記録映像の他、お子様向けの作品を上映します。自由に入退場できますので、ご家族でお気軽にご来場ください。

2023 1/2 月祝
熊野修験再興35周年記念 ドキュメンタリー映画
「修験ルネッサンス」(84分)
10:30~12:00 制作・監督:田中千世子 / 特別協力:三重県立熊野古道センター 他

2023 1/3 火
ランドマークの灯が消える(35分)
10:00~10:35 制作:三重県立熊野古道センター

子ども向け作品
13:30~14:30 トムとジェリー(60分)
14:40~15:30 ざんねんないきもの辞典(50分)

子ども向け作品
11:00~11:55 チップとデール(53分)
13:30~14:35 ダンボ(63分)
14:40~15:30 ざんねんないきもの辞典(50分)

●上映内容に変更になる場合がございます。

センター敷地内『夢古道おわせ』

ぜひお立ち寄りください!

NEW 海鮮レストラン イサバヤ

尾鷲を一望できる海鮮レストランで、新鮮な魚介類を使った海鮮丼やステーキなど、漁師直営のお料理をお楽しみいただけます。

営業時間 午前11時~午後2時 (オーダーストップ)

みえ尾鷲海洋深層水 夢古道の湯

深海415メートルから取水された海洋深層水のお風呂。ミネラル分が豊富で保温性に優れているので、湯上り後もポカポカです。

営業時間 午前10時~午後9時30分 (入館受付:午後9時まで)

「夢古道おわせ」に関するお問い合わせは TEL 0597-22-1124

お知らせ

LINE@

企画展、イベント情報、センター周辺のちょっとした話題など、随時更新していきます。ぜひご覧ください。

LINE

check!

公式Twitter、Instagram随時配信!

旬のイベント情報をお伝えするLINE配信にぜひご登録ください。



お車で越しの方は...

尾鷲北IC→坂場交差点を直進→「ホテルビオラ」さんがある交差点を右折→しばらく県道を海沿いに走り、案内看板を右折して到着です。(尾鷲北ICから約10分) ※尾鷲南ICからは約8分

電車で越しの方は...

JR尾鷲駅下車→ふれあいバス「尾鷲駅」バス停(徒歩1分)、または三重交通「尾鷲駅」バス停(徒歩5分)乗車→「熊野古道センター前」下車

熊野古道センターからのてがみ 2022年 冬号

- 発行日:2022年12月10日(季刊)
- 編集・発行:三重県立熊野古道センター (三重県指定管理者 NPO法人熊野古道自然・歴史・文化ネットワーク)
- 編集担当:小島
- 連絡先:〒519-3625 三重県尾鷲市向井12-4 TEL 0597-25-2666 FAX 0597-25-2667 Mail info@kumanokodocenter.com
- 開館時間:午前9時~午後5時
- 入場料:無料
- 休館日:12月31日、1月1日(その他メンテナンス時休館)

熊野古道センター 検索

ホームページ <https://www.kumanokodocenter.com/> 600002201210RK

旬の企画展

企画展

わが郷土のお祭り 飛鳥町と飛鳥神社例大祭

2022 12/17(土) ▶ 2023 1/29(日)

●休館日 12月31日・1月1日

時間 午前9時～午後5時 場所 企画展示室
入場料 無料



熊野市飛鳥町の飛鳥神社で開催される例大祭と豊かな自然が美しい飛鳥町について紹介する企画展です。祭りの中で使用される御神輿や御神楽の道具など実物も展示します。

付属講演会

飛鳥神社のお祭り

2022 12/18(日)

時間 午後1時30分～3時
入場料 無料
定員 40名(要申込・先着順)
場所 映像ホール
講師 西村勇三氏(飛鳥神社宮司)
受付 12月17日(土) 午後5時まで

特別展示室企画展

水彩画教室作品展 ～東紀州 四季の風景～

那智勝浦町在住の画家、三隅俊昭氏を講師に迎え、今年度4回にわたり開催した水彩画教室参加者による作品展を開催します。東紀州の四季の風景を描いた作品を通して、地域の魅力を発信します。

2023 1/28(土) ▶ 3/26(日)

●会期中無休
時間 午前10時～午後5時
入場料 無料
場所 特別展示室



スタッフコラム

水彩画教室



那智勝浦町在住の画家、三隅俊昭氏を講師に迎えた「水彩画教室」は3年目となり、今年度は13名の方に参加していただきました。4月の始神さくら広場から始まり、5月の丸山千枚田、9月の飛雲の滝、10月の魚まちまで、各回、お天気にも恵まれ、参加者の皆さんには、思う存分、東紀州の四季の風景を描いていただきました。完成した作品は、「水彩画教室作品展」(会期:令和5年1月28日～3月26日)として発表いたしますので、力作ぞろいの作品をぜひご覧ください。地域の魅力について再発見する機会としていただければ幸いです。



熊野古道自然学校 銚子川ゆらゆら帯観察



淡水と海水が混ざり合う際にできる「ゆらゆら帯」と生き物の観察会を行いました。ゆらゆら帯はカメラを使って観察し、ガムシロップのように揺らめく様子を見ることができました。その後、まいこみ湖へ移動し、希望者は川の中に入って生き物を捕まえました。希少なイドミミズハゼを探しましたが、残念ながら見つかることはできませんでした。しかし、オレンジ色が美しいヤツメヨコエビやミミズハゼを捕まえることができました。特に小学生の参加者には楽しんでいただけたと思います。

修学旅行について



今年も三重県内を中心とした小中学校から、たくさんの子どもたちが修学旅行に来てくれました!熊野古道について学習したり、尾鷲市と紀北町の特産品「尾鷲ヒノキ」を使った木工体験をしたりと、楽しく過ごしていただきました。紙やすりを使った木工体験では、子どもたちならではの発想で個性豊かな箸やバタナイフができました。元気がいっぱいの子どもたちにスタッフもパワーをもらっております!ぜひ、お休みの日にもご家族で遊びに来てくださいね!

スタッフ一同
お待ちしております!

ロビー展 くまのみちを歩く ～伊勢国から紀伊国へ～

熊野古道センター発行の冊子「くまのみち叢書14・15」の中から、おすすめの名所や四季の風景、石標や石仏、人が自然にはたらかせてきた文化的景観など、熊野古道伊勢路の魅力写真を紹介します。

2023 1/28(土) ▶ 2/26(日)

●会期中無休
時間 午前9時～午後5時
入場料 無料
場所 展示棟ロビー



付属講演会

熊野古道の 自然景観と石畳

2023 2/26(日)

時間 午後1時30分～3時
入場料 無料
定員 40名(要申込・先着順)
場所 映像ホール
講師 二村直司氏(尾鷲市文化財調査委員、おわせび工房代表)
受付 1月25日(水)～2月25日(土) 午後5時まで

企画展

ネイチャーシリーズ 熊野古道 大地のなりたち



2023 2/11(土) ▶ 4/9(日)

●会期中無休
時間 午前9時～午後5時
入場料 無料
場所 企画展示室



熊野古道伊勢路はなぜそこにあるのか。熊野の大地のなりたちや現在みられる景観を通して、歴史・文化からだけでなく「自然」から考察します。東紀州のジオサイトも紹介します。

イベント情報

お正月体験教室

2023 1/2(月)祝

連凧づくり体験

時間 ①午前10時～正午
②午後1時30分～3時30分

参加料 200円

定員 各回10名(要申込・先着順)

場所 体験学習室

講師 熊野古道センター職員

受付 12月29日(木) 午後5時まで



2023 1/3(火)

スマホスタンド づくり体験

時間 ①午前10時～正午
②午後1時30分～3時30分

参加料 500円

定員 各回5名(要申込・先着順)

場所 体験学習室

講師 熊野古道センター職員

受付 12月29日(木) 午後5時まで

2023 1/2(月)祝 1/3(火)

よく飛ぶ 紙飛行機 づくり体験

時間 ①午前10時～正午
②午後1時30分～3時30分

参加料 200円(事前申込不要)

●材料がなくなり次第終了

場所 交流棟大ホール

講師 熊野古道センター職員

2023 1/2(月)祝 1/3(火)

絵馬づくり体験

限定30枚

時間 ①午前10時～正午
②午後1時30分～3時30分

参加料 300円(事前申込不要)

●材料がなくなり次第終了

場所 交流棟大ホール

講師 熊野古道センター職員



交流イベント

熊野古道センター開館16周年記念 熊野古道音楽祭 新日本フィルホルン奏者 田中雅樹氏と共に

新日本フィルハーモニー交響楽団所属のホルン奏者、田中雅樹氏を迎えたコンサートを開催します。ゲストにヴァイオリン奏者の小池めぐみ氏とピアノ奏者の田中史歩氏を迎え、クラシックの有名曲やホルンの名曲をお楽しみいただけます。

2023 2/11(土)祝

時間 午後1時30分～3時30分(午後1時開場)
入場券 2,000円/12月17日(土)午前9時～販売開始
定員 100名(要入場券・先着順)
場所 交流棟大ホール
出演 田中雅樹氏(ホルン)
ゲスト 小池めぐみ氏(ヴァイオリン)
田中史歩氏(ピアノ)

●未就学児のお子様のご入場はご遠慮ください。



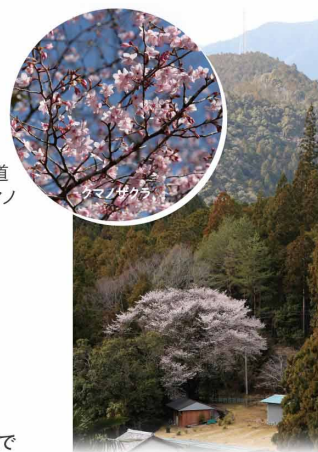
知られざる熊野探訪ツアー

クマノザクラを訪ねて ～北山道を歩く～

熊野市紀和町の赤木城跡より、かつて地域の人々が生活道として利用した北山道を歩き、早咲きのザクラとして知られる「クマノザクラ」を観賞するツアーを開催します。

2023 3/19(日) ●雨天の場合中止

時間 午前9時30分～午後3時
参加料 500円(保険料・資料代)
定員 20名(要申込・応募多数の場合抽選)
対象 健脚者(歩行距離約10km)
場所 熊野市紀和町
案内人 橋本博(熊野古道センター副センター長)
受付 2月5日(日)～3月5日(日) 午後5時まで



講座・講演 吉野町講演会 尾鷲と吉野をつなぐ鯖

尾鷲市をはじめとする熊野灘一円で獲られた「熊野鯖」と吉野土産になっている「柿の獲寿司」についてご講演いただきます。

2023 2/18(土)祝

時間 午後1時30分～3時30分
入場料 無料
定員 40名(要申込・先着順)
場所 映像ホール
講師 野口朗人氏(吉野歴史資料館職員)
受付 1月18日(水)～2月17日(金) 午後5時まで
共催 三重県立熊野古道センター
吉野歴史資料館(奈良県吉野郡吉野町)



熊野古道自然学校

照葉樹の森 橋ヶ崎自然観察会

吉野熊野国立公園の特別保護区で、美しい景観と貴重な自然が残された「橋ヶ崎遊歩道」を阿古師神社付近まで散策しながら、沿岸地に生育する樹木や野草について学びます。

2022 12/24(土) ●雨天の場合中止

時間 午前9時30分～午後12時30分
参加料 500円(保険料・資料代)
定員 15名(要申込・応募多数の場合抽選)
対象 小学生以上(小学3年生以下は保護者同伴)
場所 橋ヶ崎遊歩道(熊野市甫母町)
講師 山本和彦氏(三重自然誌の会会員)
受付 12月17日(土) 午後5時まで



東紀州の四季を味わう料理教室

2023 2/12(日) 今回は見た目も美しい和風のスイーツのレシピを学べます。

時間 午後1時～3時
参加料 2,000円
定員 20名(要申込・応募多数の場合抽選)
場所 体験学習室
受付 1月12日(木)～2月5日(日) 午後5時まで
講師 西岡宏起氏(相可高校食物調理科教師)、相可高校調理クラブの皆さん



和歌山県 世界遺産センター からのお知らせ

お問合せ先 和歌山県世界遺産センター
住所 和歌山県田辺市本宮町本宮100-1
TEL 0735-42-1044
FAX 0735-42-1560
E-mail e0624002@pref.wakayama.lg.jp

年の瀬も押し迫ってまいりました。この秋、参詣道の保全活動である「道普請」にさまざまな企業や団体、学校が参加していただきました(下記参照)。道普請とは、文化財専門職員の指導の下、土が雨で流されてしまった古道に土を補ったり、落ち葉などにより機能しなくなった溝を清掃したりする活動です。また、和歌山県内の児童生徒を対象にした教育活動である「次世代育成事業」にも多くの学校が参加しています。次世代育成事業とは、講座で世界遺産や「紀伊山地の霊場と参詣道」などに関する知識を深めた後、県の認定する世界遺産マスターの案内のもと、現地学習を行なう教育事業です。令和4年度は計22校が参加する予定です。

令和4年9月～11月上旬の道普請参加団体(敬称略)

環境保全トレッキング(高野山)、Kumano Trek、東急リゾート&ステイ株式会社、印南町立印南中学校、一般財団法人さわか財団、那智勝浦町立那智中学校、県立日高高等学校中津分校、県立貴志川高等学校、和歌山県職員労働組合、南紀白浜マリットホテル、環境保全トレッキング(鹿ヶ瀬峠)、橋本市立清水小学校

道普請には、資材費が別途必要 ●諸般の事情により、延期または中止、日程及び内容を変更する場合があります。

詳しくは当センターのウェブサイト <https://www.sekaiisan-wakayama.jp> をご覧ください。またご不明な点があれば当センターへお問い合わせください。